

平成28年度施策評価調書

整理番号	16
評価担当課	総務部企画課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	利雪親雪文化の創造と推進(3-14-3)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	14	雪を活かし雪に強いまちづくりの推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	「名寄の冬を楽しく暮らす条例」の理念に基づき、市民に個性的で魅力ある冬の文化や芸術活動が根付くよう努めるとともに、雪や寒さを活用したイベントやスポーツ活動などを通じ、より快適な冬の生活環境づくりを図る。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	冬の自然条件を活かした名寄らしい文化の創造や、誰でも雪や寒さに親しめる冬のイベント開催などに対する財政支援を行うとともに、冬カレンダーおよびホームページなどを通じ、市民および外部に対し名寄の冬をPRしている。
施策の課題	これまでの利雪親雪事業の推進により、補助金の活用を含め、市民には一定程度冬や雪を楽しむ取り組みが定着しているが、施策を推進するための新たな取組は実施できていない。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
利雪親雪推進事業補助金交付件数	冬のイベントなどの実施に対する財政的支援となる補助金交付件数	目標値				
		実績値	3	3	3	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
冬カレンダー配布部数	名寄の冬をPRする冬カレンダーの配布部数	目標値				
		実績値	16,200	16,400	16,800	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	冬のイベント等を推進する利雪親雪推進事業補助金や冬カレンダーの作成のほか、利雪親雪市民推進委員会の活動などを通じ、新たな冬のイベントが生まれるなど、冬の活動が市民に定着してきているとともに、冬の生活を楽しむ意識も浸透している。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も雪や寒さを活用した取り組みを行っていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	利雪親雪推進事業	利雪・親雪推進事業補助金により、市民の利雪親雪に関わる活動を支援するとともに、冬カレンダーなどにより、名寄市の雪・冬をPRしている。	920	a	a	a	a	b	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	16	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	利雪親雪推進事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	14	雪を活かし雪に強いまちづくりの推進
		基本事業	3	利雪親雪文化の創造と推進
		実施計画事業	1	冬を楽しむ豊かな生活文化の創造

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	名寄の冬をもっと楽しく、より快適に暮らすことを目的とする。また、名寄の冬の素晴らしさをPRする。			
対象(何を又は誰を)	名寄市民及び市外の方			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	雪や冬に関するイベントなどの財政的支援や、冬カレンダーを作成し市内外へ配布しPRする。			
意図(どのような成果を期待しているか)	冬の自然環境を活かし、名寄らしい冬の生活を楽しむとともに、イベントなどを通じた地域の活性化や地域への愛着を醸成する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	18年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄の冬を楽しく暮らす条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	1	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
					目標	実績	目標	実績	
活動指標	1	利雪親雪推進事業補助金交付実績	件	目標					
				実績	3	3	3	4	
	2	冬カレンダー配布部数	部	目標					
実績				16,200	16,400	16,800	16,800		
成果指標	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	1,110	1,204	920	1,246	補助金3件 120千円 冬カレンダー 597千円
国道支出金					
地方債				300	
その他		300	250	812	
一般財源	1,110	904	670	134	
人件費	1,337	1,326	1,298	1,249	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	2,447	2,530	2,218	2,495	
対前年比(%)	—	103	88	112	コストの算出方法
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 (<input type="radio"/> 無)

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、「名寄の冬を楽しく暮らす条例」の理念を推進するための事業であり、今後も、市として利雪親雪を推奨し、市民参加による冬の快適な生活の創造や、地域性を活かしたまちづくりを促していく必要がある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	冬季イベントへの財政支援など、市民の活動に直接的に関与する事業であり有効な手段である。また、助成した事業は、地域のイベントとして定着してきている。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	本事業の経費は、主に冬カレンダー作成経費と補助金のため、コストの削減は困難である。類似事業はなく、統廃合する事業はない。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	冬カレンダーについては、完成品は全戸配布している為、偏りがないといえる。また、補助金については、事業の趣旨から冬にイベント等を行う団体に限られるが、利雪親雪に関わる活動を行うすべての市民団体や事業所が対象となるほか、イベントに参加などにより市民不特定多数に効果が広がっている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	利雪親雪補助金及び冬カレンダーについては、目標値の設定は行わないため、活動指標、成果指標の判断は難しいが、利雪親雪に関する新しい取り組みについては、検討していかなければならないと考える。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	継続していくうえで、新たな取り組みなどの検討は必要と考えるが、現状「名寄の冬を楽しく暮らす条例」にもとづき事業実施し、利雪親雪事業補助金や冬カレンダーの活用により事業推進が図られている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	冬カレンダーについては転出者の方から送ってほしいとの問い合わせがあるなど、市内外問わず定着してきている。